

平成28年度

長野県学生バスケットボール連盟審判講習会 記録

期日 平成28年5月8日（日）

会場 長野大学体育館・会議室

平成28年度 長野県学生バスケットボール審判講習会 実施事項

1. 主催 長野県学生バスケットボール連盟
2. 主管 長野県バスケットボール協会
3. 期日 平成28年5月7日(土) 8日(日)
4. 会場 長野大学体育館・会議室
5. 日程

受付	8:30～
開講式	8:40～
伝達講習・講義	8:45～
実技講習会	10:00～
昼食	12:15～
実技講習	13:00～
閉講式	17:00
6. 講師 小松 緑之 氏 (長野県バスケットボール協会副審判委員長)
7. 受講生 長野大学：清水翔太・徳永遥・橋本法佳・坂田菜摘  
信州大学：遠山宏樹・依田優里  
佐久大学：清水創・  
長野高専：高山亮太・小出輝・草間智也・石井夏海・中原奈緒  
長野保健医療大学：北村光・瀧川あす香  
長野県短期大学：齋藤陽菜
8. 参加校 長野大学・飯田風越・岩村田・学園長野・長野商業  
長野南・蟻々崎・長岡大手

## 平成28年度 長野県学生バスケットボール審判講習会 開講式

平成28年5月8日（日）8：40～ 長野大学会議室

- 理事長挨拶 長野県学生バスケットボール協会 理事長 佐土 透 氏  
この審判技術講習会に参加し、得た知識・技術を活かし、B級審判やA級審判を目指して頑張ってもらいたい。また、今後の活動にも繋げてほしい。



### 《講義の様子》

平成28年5月8日（日）8：40～ 長野大学会議室

- 講師 長野県バスケットボール協会審判委員会 副審判長小松 緑之 氏  
テーマ：「ファウルの判定について」

- ・バスケットボールの審判において最も難しいのがファウルの判定。
- ・ファウル3原則（触合いの事実・どちらに責任・影響）がある。
- ・ファウルを判定するとき大切な事はシリンダーである。
- ・リーガル・ガーディング・ポジションは正しいディフェンス・ポジションと言う。シリンダーの考え方が重要。
- ・コート上の責任範囲で正確な判定を適切にください。両審判の緊密な協力が必要。



## テーマ：「審判の動きの4原則」

- ・ボクシング・イン
- ・オールウェイズ・ムーヴィング
- ・スペース・ウォッチング
- ・ペネトレイト／ペネトレーション



## 《講習会の様子》

平成28年5月8日（日） 会場：長野大学体育館



試合の中で小松氏（講師）より、動き方や判定の仕方などのご指導がありました。

受講生は積極的に講師に質問していました。受講生より「とてもためになった講習会であった。自身をもって審判が行えるように努力したい」



## 平成28年度 長野県学生バスケットボール審判講習会 閉講式

平成28年5月8日（日） 長野大学体育館

- 理事長挨拶 長野県学生バスケットボール協会 理事長 佐土 透 氏  
笛の音や強さ、長さは信頼に繋がる。  
また、見栄えよく自身も持ち取り組んでほしい。



- 講師挨拶 長野県バスケットボール協会審判委員会 副審判長 小松 緑之 氏  
審判は経験を積むことが重要であり、コートに立っている時は判定に責任を持つこと。  
また、笛の吹き方には「3S」がある。  
今回の講習会で得たことを今後の活動に活かしてほしい。

